

平成 23 年 6 月 7 日
内閣府公共サービス改革推進室

大学入試センター試験の出願受付業務・成績開示業務の評価（案）の概要

1. 業務内容及び契約期間

業務内容は、センター試験における出願受付業務、成績開示業務。
契約期間は、平成 21 年 10 月 1 日から 24 年 4 月 30 日まで。

2. 実施状況に関する評価

各業務の実施状況において、大きなミスやトラブルは報告されておらず、確保されるべきサービスの質として設定された水準をすべて達成できたものと評価できる。

なお、平成 21 年度の経験を踏まえ、22 年度には、出願宛先となる郵便事業株式会社支店の変更を提案し実行した。このことにより、センターまでの輸送時間が飛躍的に短縮された。また、受領・通数確認スペースが広くなり、出願書類のセンターへの輸送が 1 日 2 回から 1 回に減少し、作業が効率化された。また、確認はがきに記載された個人情報隠すための仕様を民間事業者の改善提案に基づき変更した。このことにより、確認はがきの印刷・印字出力等の作業効率が向上したとの報告であり、民間事業者の創意工夫が発揮されている。

3. 実施経費に関する評価

契約額 462,000,000 円は従来の実施に要した経費 463,659,939 円の約 99% に相当し、約 166 万円の経費が削減された。

4. 今後の事業について

次期事業についても引き続き民間競争入札を実施することが適切と考えられる。

なお、現行の契約期間は、平成 21 年 10 月から 24 年 4 月までとされているが、次期事業実施の際には、対象業務の一連の作業工程がほぼ 1 年間で循環するものとなっていることを踏まえ、より適切な始期と終期を設定する必要がある。